



「ふれあい」は
ホームページ
でもご覧いた
できます



■■■ 6月 イベントカレンダー ■■■

4日 水

山茶花大学（大代地区公民館 社会教育事業）

21日 土

自習室無料開放 ※21日（土）・22日（日）の2日間開放

22日 日

ていざんカフェテリア（コミュニティ・公民館共催事業）

27日 金

メタバースツアー（大代地区公民館 社会教育事業）

会長就任のご挨拶

初めに、大代地区の皆様には、日頃より大代地区コミュニティ推進協議会の運営に関しまして、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

先日、5月16日（金）、本協議会総会において、会長の選任をいただきました、白濱宣子です。責任の重さに身の引き締まる思いです。微力ではありますが、努めて参る所存でございますので、皆様方のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

そのような中で、共に支えあい、みんなが安心して暮らす大代地区町づくりを目指した活動が必要であることを、改めて決意したところでございます。

大代地区コミュニティ推進協議会も指定管理を受け3期目になります。つどう、まなぶ、むすぶを念頭に、これからも大代地区の伝統と地域社会の新しい取り組みをみんなで作って行きたいと思います。

それには、大代地区コミュニティ推進協議会と町内会との連携強化、地域共生社会、地域に根差した本協議会活動を発展させるための、役員の方々、推進員や地域の皆様方のお力添えがより必要となります。どうぞ皆様方のご理解、ご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

新役員（会長・副会長・部長）

会長：白濱 宣子 副会長：米澤 彰 副会長：木村 好男
総務部長：平山 勇 事業部長：久保蘭 容子 広報部長：緒方 馨

リレー投稿 ぶらり町内

今回3回目は、大代南の緒方 馨さんからの投稿です。

柏木遺跡～製鉄所跡～

大代南 緒方 馨

大代南町内会に奈良時代の製鉄所跡があります。それは、恵愛ホームの近くにある中峯北公園内の柏木遺跡です。



柏木遺跡と案内板

宮城県多賀城跡調査研究所(多賀城市高崎)のホームページで次のように説明されています。

多賀城跡の東南 4.5 kmにある海に臨んだ丘陵で操業していた奈良時代前半頃の製鉄所です。製鉄炉の他に、燃料となる木炭を焼く窯、製品を加工する工房などがコンパクトにまとまって発見されました。原料である砂鉄は目の前に広がる砂浜で採取されたと推定されています。また、製鉄には専門的な技術と多くの労働力を必要とすることから多賀城直営の製鉄所と考えられています。

このような重要性から遺跡は保存され、史跡公園として活用されています。

また、ホームページには、多賀城市教育委員会から提供されたイメージ図があります。



鉄造りの様子イメージ図 (提供 多賀城市教育委員会)

中峯北公園に立つと、このイメージ図から、製鉄の様子を想像することができます。そして、1300年前の大代をちょっとだけ感じることができるかもしれません。皆さんも、どうぞ青葉の季節に、柏木遺跡に足を運んで、歴史にふれてください。

大代地区婦人会総会開催！

～講話は昔語りのひととき～

大代地区婦人会では、4月29日に令和7年度総会を開催し、連合会会長櫻井やえ子様から祝辞をいただきました。今年度の担当は大代西支部で、支部長伊藤輝美さんを中心に、準備から後片付けまで、皆で力を合わせて無事終えることができました。

講話は、多賀城市民話の会の皆様による「昔語りのひととき」でした。多賀城に伝わる民話もお話いただき、皆で笑ったり、納得したり、ほっこりしたりと、心癒やされ、とても充実したひとときになりました。

今年度も婦人会は、地域活動に協力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



昔語りのひととき

防災の備えについて考えよう

4月号で、実際に作ってみた「防災ボトル」を紹介しました。

「防災ボトル」は、3つある防災の備えの考え方の1つ目の「普段から持ち歩く」備えです。

- 1⇒出先で被災して安全に家に帰るまでに必要、普段から持ち歩く。
- 2⇒家から避難所へ、いわゆる避難袋、緊急時に持って避難する。
- 3⇒いわゆる備蓄、避難が長期化したとき、自宅避難の食料品等。

今回は2つ目の、「緊急時に持って避難する」備えを取り上げます。

まず、広報部員の非常持ち出し袋、防災リュックを紹介しますので、ご覧ください。

Aさんの非常持ち出し袋



非常持ち出し袋に入っているのは

- ①毛布 ②スリッパ ③タオル
- ④携帯トイレ ⑤レインポンチョ
- ⑥ホイッスル ⑦マスク

Bさんの防災リュック



防災リュックに入っているのは

- ①軍手 ②スリッパ ③タオル
- ④携帯トイレ ⑤ラジオ ⑥乾電池
- ⑦洗濯ばさみ ⑧包帯・絆創膏
- ⑨メモ帳 ⑩コップ ⑪懐中電灯
- ⑫歯ブラシ・スプーン・フォーク ⑬ロープ

次に、ご自分の避難袋・防災リュックの中身を確認してください。

私の防災リュックの中身は

防災リュック等について、周りの方々と情報交換してみたいかがでしょう。

災害が発生しないことが一番ですが、発生を想定して備えておきたいものです。

次号では、専門家が推奨する防災リュックについて取り上げます。

広報部では、皆様からのご意見・ご要望をお待ちしています。

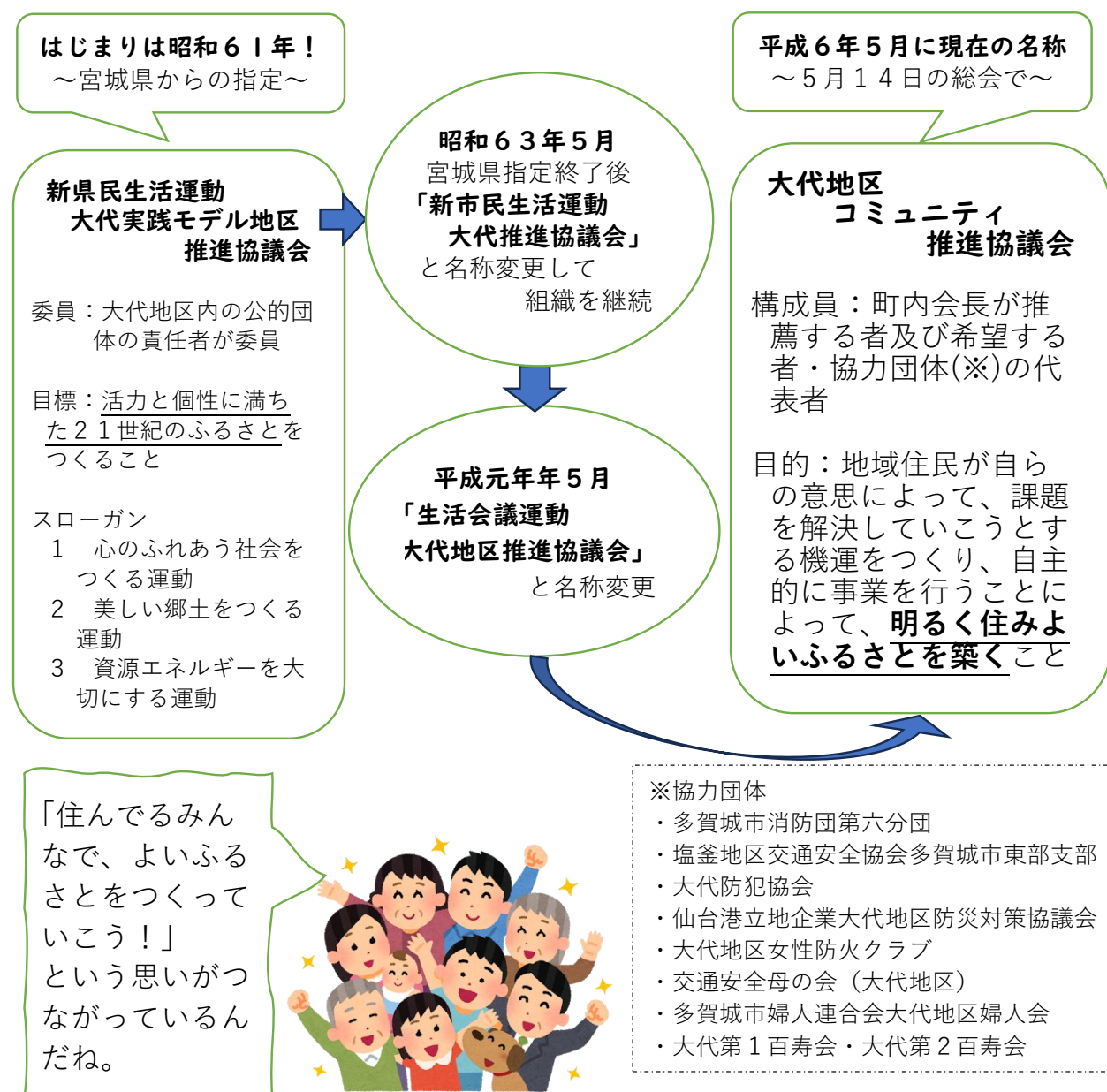
この2次元コードを読み取り、送信することができます。



大代地区コミュニティ推進協議会の目的は 住みよいふるさとを築くこと

大代地区公民館の指定管理をしているのは、大代地区コミュニティ推進協議会です。それは、大代地区の皆さんに知られていることですが、「そもそも大代地区コミュニティ推進協議会って何だろう？」と思われている方が多いのではないのでしょうか。

そこで、昨年度も取り上げましたが、大代地区コミュニティ推進協議会について、紹介させていただきます。今回はこれまでの経緯をたどります。



次号投稿締切

6月15日(日)

発行：大代地区コミュニティ推進協議会 広報部
事務局：大代地区公民館

TEL：022-364-8442 FAX：022-364-8453